

なし

発行年	1910
URL	http://hdl.handle.net/10114/646

第十節 委任

(理由) 既成法典ハ財産取得編第十一章ヲ代理ト題シ代理ヲ委任スル契約ノ事ヲ規定セリ而シテ其中ニハ當事者相互ノ關係ニ關スル規定ノ外ニ純然タル代理關係ニ關スル規定ヲ掲ケテ然レニ代理關係ハ當事者間ノ契約關係ト全ク異ナルノミナラス代理ニハ委任ニ因ルモノ直チニ法律ノ規定ニ因ルモノトアリテ其規定タル法律行為ノ全體ニ通スルモノナルヲ故ニ本案ニ於テハ總則編ニ於テ代理關係ヲ規定シ本節ニ於テハ專ラ當事者間ノ契約關係ヲ規定セリ故ニ本節ハ取得編ノ第十一章ト自ラ其範圍ヲ異ニスルモノト謂ヘシ

既成法典ハ僞民法ノ例ニ倣ヒテ委任ノ目的ハ代理ニ限ルモノトセリ此主義ニ依ルトキハ受任者カ委任者ノ名ヲ以テセシメテ委任者ノ爲メニ法律行為ヲ爲スコトヲ約スル場合ハ一種ノ無名契約ナリト謂ハサル可カラス從テ其場合ニハ如何ナル規定ヲ適用ス可キヤニ付キ疑ヲ生スルニ至ル可キナリ故ニ本案ニ於テハ近時ノ立法例ニ倣ヒ委任ノ目的ハ代理ニ限ラサルモノトナセリ

第六百四十九條 六四二

(理由) 委任ノ目的ヲ代理ニ限ルトスルノ當ヲ得サルコトハ已述ヘタルカ如シ果シテ然クハ何ヲ以テ委任ノ目的ト爲スヘキ諸國ノ立法例ヲ見ルニ多クハ他人ノ事務ヲ處理スルコトヲ以テ委任ノ目的ト爲セリ然レトモ本案ニ於テハ雇傭契約ヲ規定スルニ當リ當事者ノ一方ハ相手方ニ對シテ勞務ニ服スルコトヲ約スルモノトナセリ凡ソ他人ノ事務ヲ處理スルハ即チ他人ノ爲メ一定ノ勞務ニ服スル

モノニ外ナラス加フルニ本條ニ於テハ委任契約ノ於テ報酬ヲ付スルコトヲ得ルモノト爲シタルヲ以テ若シ委任ノ目的ハ他人ノ事務ヲ處理スルニアルモノトセハ委任ト雇傭トノ區別分明ナラサルニ至ルヘシ故ニ本條ニ於テハ原則トシテ委任ノ目的ハ他人ノ爲ニ法律行為爲スニ在ルモノト爲セリ

取得編第二百二十九條第二項及第三項並ニ第二百三十條ハ言フヲ要セザルヲ以テ之ヲ削リ又代理權ノ範圍及ヒ復代理ニ關スル規定ハ之ヲ總則ニ移シ他處取得編第十二節ノ規定ニテ削除セラルモノハ本節ノ各條ニ於テ其理由ヲ説明スヘシ

第六百五十條(六四三)

(理由) 本條ハ取得編第二百三十七條及第二百二十九條ニ該當スルモノニシテ委任ヨリ生ズル主要ノ義務ヲ規定シタルモノナリ

取得編第二百三十七條第二項ハ全ク之ヲ置クノ必要見ス却テ契約ノ反セル適用ヲ生ズルノ恐アリ又第二百二十八條ニ本條中ノ追認及ヒ事務管理ノ規定ノ適用スルトハ實際不便キヲ以テ之ヲ削レリ

取得編第二百三十九條第一項ニ於テハ受任者ハ善良ナル管理人ノ注意ヲ用ニ可キヲ原則トシ第二項ノ場合ニ於テ之カ例外ヲ設ケタリ然レトモ受任者ニシテ一旦委任ヲ受諾シタル以上ハ忠實ニ其義務ヲ履行スヘキハ契約ノ本旨トス原文ニ列舉シタル如キ事情アル爲メ委任契約ヨリ生ズル本然ノ義務ヲ履行スルニ付キ輕重ノ差別ヲ立ルハ甚ダ其當ヲ得ザルモノト信スルナリ加之此ノ如キ例外ヲ設ケタルキハ實際頗ル煩雜ヲ生レ適用區分ニ涉ルノ危險アルヲ以テハ斷シテ此規定ヲ採用セ

第六百五十一條(六四四)

(理由) 本條ハ取得編第二百四十條ニ該當スル同條ニ代理ノ終了シタルトキハ云云トアリ然レトモ此ノ如キハ受任者ノ義務ヲ定ムルコト狹キニ失スルヲ以テ獨民法草案其他最近ノ立法例ノ故ニ本條ノ如クニ改メタリ又原文ニテハ計算ヲ爲ス責ニ任スアリ然レトモ受任者ノ委任事項ヲ處理スルニ付タル規定ニシテ本條第百條及第二百十八條ノ規定アルカ爲メ之ヲ削レリ

第六百五十二條(六四五)

(理由) 本條ハ取得編第二百四十一條ニ該當スル同條第一項末文「本條中留置權及ヒ變務契約履行ノ時期ニ關スル規定(五三二)アルヲ以テ十分ナルニ依リ之ヲ省キタリ然レトモ果實ニ付キタル規定ヲ設ケタルノ必要アリ蓋シ受任者ノ其收取シタル果實ヲ返還スヘキコトヲ規定セザルトキハ不當利得ノ原則ニ依リテ現ニ存スル利益ノミヲ返還スル義務ヲ負フ可ケルハナリ」原文第二項ノ規定ハ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ委任事務ヲ處理スルノ義務ヲ缺キタルヨリテ受任者ニ賠償ノ義務ヲ生ズ可キコト當然ナルヲ以テ之ヲ削リ第二項ハ既成法典ノ缺點ヲ補充シタルノミ

第六百五十三條(六四六)

(理由) 本條ハ取得編第二百四十二條第二項ニ聊カ文字ヲ修正加ヘタルモノニ過キス同條第二項ハ通關ノ適用ニ過キサルヲ以テ之ヲ削レリ

第六百五十四條(六四七)

(理由) 本條以下數條ハ委任者ノ義務ヲ想定シタルモノナリ取得編第二百四十八條ハ之ヲ置クノ必要

ヲ見ス同第二百四十九條ハ敵人ノ委任者ヲ連帶シテ義務ヲ負フ可キ事ヲ規定シタルモノナリ然レニ本條ニ於テハ特別ノ理由ナキ限りハ連帶ヲ認メサル主義ヲ採リタルヲ以テ當事者若シ連帶ヲ欲セハ特約ヲ以テ之ヲ定メテ可ナリ法律ニ於テ敵人ノ委任者ヲ連帶シテ義務ヲ負フ可キコトヲ定ムル必要ヲ見サルナリ然レトモ委任事項ノ性質ニヨリ通常不可分債務ヲ生ス可キヲ以テ實際ノ結果ヲ既成法典ノ規定ト大ニ異ラサル可シ同第二百五十條ハ代理ニ關スル規定ナリ今其中ニ付キ必要ナルモノハ總則ニ於テ採用シタルヲ以テ此ニハ之ヲ削除セリ

本條第一項ハ取得編第二百二十一條及ヒ二百四十五條第一號ニ該當ス外國ノ法典ニ於テハ委任ヲ以テ無償契約トシタルモノ少ナカラスト雖トモ今日ニ於テハ有報酬ノ委任ヲ爲スコト益々頻繁ナルヲ以テ之ヲ無償契約ノ爲スハ極メテ不便其當ヲ得サルモノス然レトモ委任者ニ於テ當然報酬ヲ拂フ可キモノト定ムルハ其當ヲ得サルヲ以テ既成法典及ヒ多數ノ立法例ニ倣フテ特約又ハ慣習アル場合ニ限り報酬ヲ拂フヘキモノトセリ(九)第二項ハ取得編第二百四十七條第一項ニ該當ス而テ第六百二十九條第二項ノ規定ヲ準用スヘキモノト定ムタルヲ以テ原文ノ但書ハ自ら之ヲ存スルノ必要ナ

キナリ

第三項ハ取得編第二百四十七條第二項ノ規定ヲ一層明ニシタルモノニ過キス

第六百五十五條(六四八)

(理由) 本條ハ取得編第二百四十八條ニ修正ヲ加ヘタルモノナリ同條ノ規定ニ依ルトキハ委任者ハ一切ノ事項ニ付キ前拂ヲ爲ス義務アルカ如シ然レトモ既成法典ノ規定ニ依ルモ報酬ハ事後ニ之ヲ拂フヘキモノナルヲ以テ委任者カ前拂ヲ爲ス可キモノハ實際事項處理ノ費用ノ限ル可キナリ

第六百五十六條(六四九)

(理由) 本條ハ取得編第二百四十五條第一號第三號及ヒ第四號ニ該當第一項ハ原告第一號ニ同シ其第四號ハ明瞭ヲ缺キ且用語懸當ナラサルヲ以テ之ヲ修正セリ受任者ノ委任事項ヲ處理スル爲メ債務ヲ負擔シタル場合ニ於テ其債務カ辨濟期ニ在ラザルトキハ委任者アレテ相當ノ擔保ヲ供セシムルヲ以テ最モ適當ノ方法ナリトス但債務者ノ利益ノ爲メ期限ノ定アル場合ニ於テハ擔保ヲ供スルニ代ヘテ辨濟ヲ爲スコトヲ得ヘキハ通則ニ依リ疑ヲ存セサル所ナリ

第六百五十七條(六五〇)

(理由) 本條以下ハ委任ノ終了ニ關スル規定トス從來ノ立法例ニ於テハ委任者カ解除ヲ爲ス場合ト受任者カ解除ヲ爲ス場合トニ付キ各々異ナル文字ヲ用ヒタリ即委任者ノ爲メ解除ハ通常之ヲ廢罷又ハ取消ノ解任ト稱シ受任者ノ爲メ解除ハ通常之ヲ地棄辭任ト稱セリ今此ノ如ク名稱ニ付キ區別ヲ爲

スハ實際ニ於テ便利ナル場合ナキニ非ス故ニ法律ヲ以テ毫モ其實用ヲ妨ケスト雖モ其民法上ノ性質ハ何レモ契約ノ解除ニ外ナラサルヲ以テ本條ニ於テハ特別ナル語ヲ用ヒサルコトニセリ

本條第一項ハ當事者雙方ノ解除權ヲ有スル事ヲ規定シタルモノニレテ諸國ノ法典皆如此ナラサルハナシ加之瑞士債權法及ヒ獨乙民法第一讀賣草案ニ於テハ委任者ヨ豫メ取消ヲ爲サハハ冒約スルモ其效ナキモノトセリ然レトモ公益ニ害ケキニ斯ク契約ノ自由ヲ制限シテ委任者ノ解除權ヲ強クスルノ必要ヲ見ス或場合ニハ其ノ特約ヲ爲スノ便利ナルコトアルヘキヲ以テ之ヲ任意の規定トセリ

取得編第二百五十二條ハ本條第一項ノ規定アルカ爲メ之ヲ削リ又同第二百五十四條ノ規定ハ一切ノ場合ニモ之ヲ適用スルコトヲ得ス蓋シ委任事項ハ其性質ニ依テ或ハ可分ナルコトアリ或ハ不可分ナルコトアリ果シテ然ラハ當事者ノ意思及ヒ不可分債務ニ關スル規定ノ適用ノ放任スルヲ可トス

ニ原文ノ如キ規定ヲ置クノ必要ナキナリ同第二百五十五條ノ規定ハ佛民法及其他ノ法典ニ於テ見ル所ナリト雖モ法文トシテ之ヲ設クルハ其當ヲ得ノ事實論ニ一任シテ可ナリ加之同條ノ規定ハ往々事實ニ反スルモノト謂フ可キナリ

第二項ノ規定中受任者ヲ爲ス解除ニ付テハ取得編第二百五十六條ハ其主意ヲ異ニセス而シテ委任者ヲシテ不適當ナル時期ニ爲レタル解除ノ損害ヲ賠償セシムル例ハ獨リ瑞士債權法アルノミ其他ノ法典ニ於テハ委任者ハ何時ニテモ取消ヲ爲スコトヲ得ヘキモノトシ其取消ヨリ直チニ生スル損害ヲ賠償セシムルコトナク唯他ノ事情ニ因リテ受任者ノ棄リタル損害ヲ賠償セシムルノミ然レトモ契約當

事者ヲ平等ニ保護スルノ主義ヲ採ル以上ハ本條ノ如キ規定ヲ設クルヲ至當トス而レテ但書ノ規定アルカ爲メ實際ニ於テハ決シテ不便ヲ感スルコトナカルヘシ

第六百五十八條(六五)

(理由) 本條ノ規定ハ取得編第二百五十二條ノ規定ヲ採用シタルモノナリ外國ノ法典ニ於テハ此ノ如キ規定アルヲ見スト雖モ是レハ一明文ヲ俟タサルモノト見タムト又一ハ本案ニ於ケル如ク既在ニ過

リテ效力ヲ生スヘキ解除ナル文字ヲ用ヒサルカ故ニ過キサルナリ

第六百五十九條(六五)

(理由) 本條第一項ハ既成法典ノ主義ヲ採用シタルモノナリ商事ニ於テハ當事者ノ一方ノ死亡ニヨリテ委任ノ終了スルモノト定ムルハ不便ナルヘシ獨乙民法草案ニ於テハ商法ノ規定ト民法ノ規定ト一致セシコトヲ欲シテ委任ハ當事者ノ一方ノ死亡ニ因リテ終了セサルモノトモ是レ是レ近時人事關係ノ頻繁ナルニ伴フ立法ノ趨勢ナルコトヲ認メサルニ非スト雖モ民法上ノ委任ハ人ノ關係ニ基礎トスルノミナラス當事者ヲレテ尙ホ生存セシメハ或ハ解除ヲ爲スヤ知ル可カラサルヲ以テ多數ノ立法例ニ倣ヒ當事者ノ一方ノ死亡ニ因リテ委任ノ終了ヲ來スヘキモノト爲サタリ本條ニ密接ノ關係アル本案第百十二條ニ於テモ亦當事者ノ一方ノ死亡ニ因テ代理權ヲ消滅スヘキ事ヲ規定セリ

既成法典ハ委任者ハ禁治產ノ宣告ヲ受ケタルトキハ委任ノ終了スヘキコトヲ規定セリ之ニ反シテ本條ニ於テハ委任者ノ禁治產ノ委任ノ終了ヲ來サハルモノト爲セリ此主義タルヤ已ニ本案第百十二條

ニ於テ認メタル所ナリトス委任者ヲ禁治産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ在リテハ後見人アリテ委任者ヲ代理スルカ故ニ實際ニ於テハ委任者ノ能力ヲ有スル場合ト大差ナカルヘク此場合ニ於テ當然委任ノ終了スルモノト爲スハ往々不便ナルヘキヲ以テ人ノ關係ノ基礎トシテ本節ノ規定ヲ設ケタルニ拘ハラス本條第二項ノ規定ヲ設ケタリ

第六百六十條(六五二)

(理由) 本條ハ取得編第二百五十一條第三號ノ規定ヲ採用シタルモノニシテ多數立法例ニ於テモ亦本條ノ規定ノ如クナラサルハナレ

第六百六十一條(六五三)

(理由) 本條ハ取得編第二百五十九條ノ該當スル本條ニ於テ新ニ法定代理人ヲ加ヘタル所以ハ主トシテ受任者ヲ禁治産ノ宣告ヲ受ケタルニ因リテ委任ノ終了スル場合ニ於テ其實用アル可キヲ以テナリ諸國ノ立法例ヲ見ルニ本條ノ規定ハ當事者ノ死亡ニヨリテ委任ノ終了スル場合ニ付テノミ之ヲ設ケタルモノ多レ或ハ當事者ノ禁治産又ハ破産ニ因リテ委任ノ終了スル場合ニ適用スルモノアリ只瑞士債務法ハ本條ノ適用ヲ汎クセリト雖モ尙委任解除ノ場合ニハ之ヲ適用ス可カラサルモノト爲シタリ本條ニ於テハ既成法典ニ定ムル所ヲ以テ最モ適當ナルモノトシ委任ノ終了シタル場合ニハ其原因ノ如何ニ係ラス本條ノ規定ヲ適用スヘキモノトナレタリ

第六百六十二條(六五四)

(理由) 本條ハ取得編第二百五十七條第一項ノ規定ヲ採用シタルモノナリ諸國ノ法典ニ於テハ本條ノ適用ヲ爲スヘキ範圍ヲ狭クシテ受任者ヲ委任終了ノ事由ヲ如テサル場合ニノミ之ヲ以テ受任者ニ對抗スルコトヲ得サルモノトナセリ然レトモ委任者ト雖モ其利益ヲ保護スルノ必要ナルコトハ同一ナルヲ以テ本條ニ於テハ既成法典ノ主義ヲ採用セリ

原致第二項ハ必要ナキヲ以テ之ヲ削除セリ

第六百六十三條

(理由) 本節ノ規定ハ概シテ任意の規定ナリ故ニ特約又ハ慣習ニ依リテ其適用ヲ變更スルコトヲ得ヘキハ當然トス唯第六百四十九條ハ委任ノ本質ニ關シ又第六百六十條ハ公益ニ關スル規定ナルヲ以テ特約又ハ慣習ニ依リテ之ヲ變更スルコトヲ得サルナリ或外國ノ法典ニ定ムル所ト最も相異ナル點ハ委任者ノ有スル解除權ノ如キモ亦特約ヲ以テ之ヲ排除スルヲ得ルニ在リ既成法典ハ何レノ主義ヲ採リタルヲ明ナラスト雖モ公益ニ害ナリ以上ハ之ヲ有效トスルノ精神タルト蓋シ疑フ存セザルナリ